

埼玉県小児在宅医療支援研究会 をご存じですか？



2008年に東京都で妊婦さんが急変した際に救急搬送先が長時間決まらなかった事件を通じ、多くのNICUが退院できない長期入院児を抱えている現状が判明しました。埼玉医科大学総合医療センターは60床のNICUを抱え、ハイリスクの妊婦さんを多数受け入れ、超低出生体重児、重症新生児仮死、染色体異常症、多発奇形などの重症な赤ちゃんが生まれています。私たちは、これらの赤ちゃんに適切な入院治療を提供しつつ、退院後の生活を視野に入れた小児在宅医療を充実させることで、長期入院児の退院支援に取り組んできました。

私たちは2012～2014年に厚生労働省の在宅医療連携拠点事業、小児等在宅医療連携拠点事業を受託し、埼玉県全体の小児在宅医療の支援体制を充実させるべく、埼玉県小児在宅医療支援研究会を発足させました。厚生労働省の事業が終了した後も、埼玉県から小児在宅医療推進事業を委託されてこの活動を継続しています。発足当初は医療的ケア児の「在宅医療」支援を目指して活動してきましたが、現在は医療的ケア児が地域で生活できるよう支援する「地域包括ケアの構築」を目指しています。



【活動内容】

概要

具体例

<p>研究会の開催 (年4回)</p>	<p>(1) 情報提供 (2) 症例検討 (3) 講演会</p>	<p>経腸栄養コネクタの国際標準化 人工呼吸器、心疾患 医療的ケア児の意思決定支援のあり方 放課後等デイサービスの報酬改定 幼稚園・保育園への医療的ケア児の受け入れ</p>
<p>人材育研修会の開催</p>	<p>医療的ケア児の支援者(医療・福祉・教育・行政関係者)に向けた様々な内容の研修を開催しています。職種によってニーズが異なるため、参加者の意見を聞きながら研修の内容をカスタマイズしています。</p>	<p>小児在宅医療実技研修会 成人の在宅医向け研修会 小児リハビリセラピスト向け研修会 医療的ケア児(重心児)支援者向け研修会 相談支援専門員研修会 学校教員及び看護師のための研修会 医ケア児の災害時支援研修会 医療的ケア児に関する市民公開講座</p>
<p>多職種連携のための地域会の支援</p>	<p>埼玉県の各地域で小児在宅医療のステークホルダーとなる方に、地域の多職種連携のための会を主催して頂くことを支援しています</p>	

医療的ケア児に関する情報を提供し、多職種間での横の繋がり・顔の見える関係づくりを目指します。日本小児在宅医療支援研究会の事務局も請け負っています。詳細はホームページをご覧ください。

【ホームページ】 <http://www.happy-at-home.org>

【会費および会員登録】 埼玉県の講演会、研修会は全て参加無料であり、会員登録は不要です。



事務局

埼玉医科大学総合医療センター小児科 ☆小児在宅医療支援プロジェクトチーム☆
(田村 Dr, 側島 Dr, 森脇 Dr, 是松 Dr, 高田 Dr, 奈倉 Dr, 小泉 Ns, 當麻 MA)
〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981 tel:049-228-3550 fax:049-226-1424
e-mail: zaitaku@saitama-med.ac.jp